

小委員会の調査報告書

教科名	社会科	委員長名 菅野 洋子
調査研究の経過	<ol style="list-style-type: none"> 1 審議の概要 <ul style="list-style-type: none"> (1) 第1回調査委員会を7月1日(火)に、稚内市役所正庁で開催し、社会小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。 (2) 7月2日(水)から7月13日(日)まで、「教科書見本本」、「教科書編集趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。 (3) 第2回調査委員会を7月14日(月)に、稚内市役所正庁で開催し、報告書の作成を行った。 なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、東書、教出、日文、光村の4者である。 2 調査研究の観点 <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 「取扱い内容」について (2) 「内容の構成・配列・分量等」について (3) 「使用上の配慮」について (4) 「その他」 	
調査研究に当たった際の配慮事項	<p>次の点に配慮して調査研究を進めた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「取扱い内容」について <ul style="list-style-type: none"> (1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。 (2) 知識・技能の習得、活用、探究に対応できるよう、既に学習した内容の系統的な反復学習や練習問題などによる繰り返し学習に関する内容、観察・実験やレポートの作成に関する内容、他教科との関連する内容、補充的な学習や発展的な学習に関する内容、実生活・実社会に関する内容などがどのように取り扱われているか。 2 「内容の構成・配列、分量等」について <ul style="list-style-type: none"> (1) 内容の構成・配列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。 (2) 内容の分量が、領域等ごと、全体としてどのようになっているか。 3 「使用上の配慮等」について <ul style="list-style-type: none"> (1) 児童の学習意欲を高める工夫がなされているか。 (2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫がなされているか。 (3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。 4 「その他」について <p>上記1～3に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p> 	
少数意見その他	(This section is currently blank in the provided image.)	

様式 2

教科名		社会					
	出版社名	教科書名	番号				
	東京書籍	新しい社会	331	332	531	532	631 632
取 扱 内 容	<p>1. 学習指導要領総則及び各学年の目標・内容等に基づいて、次のように取り扱われている。</p> <p>○第3・4学年では、仙台市の様子、スーパーマーケットと長ネギ農家、消防・事故事件防止、水資源や水道、ごみの処理と利用を取り上げ、地域や消費生活、生活環境や安全を守る活動を理解させ、道具やくらしの昔と今の違い、歴史的建造物・お祭りや地域行事、用水の開発を通して生活の変化や先人の働きに気づかせ、地域の一員として自覚を高め地域社会に対する誇りと愛情を育てようとしている。また、調べ方、まとめ方が詳しく掲載され、自分で学習を進められるよう工夫されている。</p> <p>○第5学年では、暖かい気候の沖縄のくらしや山地・高原・寒い土地・雪国のくらしを取り上げて我が国の国土の様子を理解させ、米づくり・水産業・自動車工業・工業地域による特色や貿易の特色等の内容を通して産業の様子や国民生活との関連を理解させ、東日本大震災を例に情報伝達、生活の中の情報ネットワーク、情報との関わり方等を通じて情報化の進展への関心を高め、生活と森林、環境を守ること、自然災害を防ぐことを取り上げ環境保全や自然災害の防止への関心を深め国土に対する愛情を育てようとしている。また、グラフの読み方を記載し、資料を通して事象を多角的に捉える力を養うように工夫されている。</p> <p>○第6学年では、歴史学習においては各時代の文化遺産や人物を取り扱い、特に我が国の代表的な文化遺産を取り上げ、興味関心と理解を深め、我が国の歴史や伝統を大切にすることを育もうとしている。政治の働きや国際理解に関わる学習では、国会の働きや日本国憲法の原則、くらしと憲法の関わり、日本とつながりが深い国々や平和・地球環境を守る努力について取扱い、生活と政治の関わり、国際社会における我が国の役割を理解し平和の大切さを自覚するようにしている。また、歴史地図の読み取り方を記載するなど、その時代の特色を資料から捉える力を養えるようにしている。</p> <p>2. 知識技能の習得、活用、探求に対応するために全学年を通じて次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学び方コーナー」を設け、学習場面に応じた学び方を示し、全学年を通じて系統的に学習技能を身につけることができるように配慮している。 ・学習の基礎基本となるキーワードを「ことば」として枠囲みで明示している。 ・各単元に「学習のまとめ」を設け、表現活動が展開しやすい工夫がなされている。そこでは、単元で学んだ言葉を活用してまとめることができるような例示がなされている。 ・選択教材を設け、地域や学校の実態に応じて、教材を選択して取り上げる工夫をしている。 						
	内容の構成・配列・分量等	<p>1. 内容の構成・配列について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容の構成・配列については、学年の発達の段階等をふまえて系統的、発展的に組織されている。その上で特徴的には、防災に関わる教材の充実、食育、法、金融、キャリア、エネルギー、ICT等の教育課題を重点的に指導することができる。 <p>2. 内容の分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数については、第3、4学年は前回より16%増となっている。第5学年は前回より20%増となっている。第6学年は前回より16%増となっている。 					
使用上の配慮	<p>1. 児童の学習意欲を高めるために、写真やイラスト・図表をふんだんに盛りこんでいる。</p> <p>2. 児童自ら課題解決に取り組み、主体的に学習できるように、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の最初の単元に「学習の進め方」を設け、問題解決の流れに沿った学習の展開を促し、「めあて」「学習問題」「問い」の明示で問題意識を高めるよう工夫されている。 ・中学年では「学びのポイント」、高学年では「次時へのつなぎ」を適所に配し、見通しをもって学習に取り組めるように配慮している。 ・学習したことを次の学習や生活に活用するため「いかす」ページがあり、社会科学習への関心が高められるようにしている。 <p>3. 巻末に、索引や都道府県索引を載せ、学習を振り返り、利用しやすいように工夫されている。</p>						
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域や我が国のすぐれた伝統や文化やその保護・継承に携わる人の姿を随所に取り上げ、日本人としての自覚を育てることに留意している。 						

様式 2

教科名		社会					
	出版社名	教科書名	番号				
	教育出版	小学社会	333	334	533	534	633 634
取 扱 内 容	<p>1. 学習指導要領総則及び各学年の目標・内容等に基づいて、次のように取り上げられている。</p> <p>○第3・4学年では、横浜市、スーパーマーケットとしゅうまいをつくる仕事、事件・事故防止と防災、ゴミ処理・水資源の利用を取り上げ、地域や消費生活、生活環境や安全を守る活動を理解させ、新田開発に関わることを通して生活の変化や先人の働きに気づかせ、福岡県の位置や特色をいかした町づくりを通して地理的環境に関わる理解を図り、地域の一員として自覚を高め地域社会に対する誇りと愛情を育てようとしている。「わくわく社会科ガイド」を設け、社会科の学び方と基礎的技術の習得を図る手立てを盛り込んでいる。</p> <p>○第5学年では、暖かい気候の沖縄、高地の野辺山原を取り上げ、我が国の国土の様子を理解させ、新潟県の稲作と根室市の水産業、自動車工場、日本の工業の特色とこれからの工業生産を通して産業の様子や国民生活との関連を理解させ、情報ネットワーク化と活用の仕方等について取り上げ情報化の進展への関心を高め、森林の働き、自然災害、校外資源の再利用、公害等を取り上げ環境保全や自然災害の防止への関心を深め国土に対する愛情を育てようとしている。</p> <p>○第6学年では、歴史学習においては歴史上の人物や代表的な文化財を通して日本の歩みをとらえさせ、日本の伝統文化に関わる学習も重視して興味関心と理解を深め、我が国の歴史や伝統を大切にする心情を育もうとしている。暮らしを支える政治、日本国憲法の原則や国の政治のしくみ、日本とつながりが深い国々の学習や地球環境・世界平和を守る努力について取扱い、生活と政治の関わり、国際社会における我が国の役割を理解し平和の大切さを自覚するようにしている。</p> <p>2. 知識技能の習得、活用、探求に対応するために全学年を通じて次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大単元、小単元、各時の「問い」によりわかりやすい学習課題と、単元を通して問題解決を図る展開が示されている。 ・社会生活を送る上で必要な大切な言葉、追及を進めていく上で特に大切な言葉を「キーワード」として示されている。 ・単元のまとめの段階で、学びを振り返り整理・表現する「まとめる」、考えをまとめたり表現したりする学習活動として「深める」が設けられている。 						
	内容の構成・配列・分量等	<p>1. 内容の構成・配列について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように構成し、系統的・発展的に学習できる工夫がされている。 ・自然災害特に地震について資料や写真など豊富に掲載されている。 <p>2. 内容の分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真やグラフ、図など、問題解決のための効果的な資料がより多く掲載され、また、本文についてもより詳しくわかりやすい記述となっているが、前回と総ページは大きく変わっていない。 					
使用上の配慮	<p>1. 児童の学習意欲を高めるために、幅広のつくりを採用し、写真やイラスト・図表がふんだんに使われている。また、体験的な学びをしている活動写真も掲載し、意欲づけを図っている。</p> <p>2. 児童自ら課題解決に取り組み、主体的に学習できるように、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の冒頭に問題解決的な学びの進め方や教科書の有効な使い方を示している。 ・学習支援の友だちキャラクターの「発言」も子ども目線の内容で共感をもって学習できる。 ・地域の開発に関わる学習の後に、地域を開発した先人へ手紙を書く活動を設定したり、我が国と世界の国々とのつながりに関わる学習の後に、現代社会の課題と自分との関わりについてまとめる活動を設定したりするなどの工夫がされている。 ・単元毎に「学習問題」が提示されており、見通しを持った学習活動ができるよう工夫されている。 						
その他							

様式 2

教科名		社 会					
	出版社名	教科書名	番 号				
	日 文	小学社会	337	338	537	538	637
取 扱 内 容	<p>1. 学習指導要領総則及び各学年の目標・内容等に基づいて、次のように取り上げられている。</p> <p>○第3・4学年では、姫路市、スーパーマーケット、ごみの処理と利用・水資源や水道・消防・交通事故防止を取り上げ、地域や消費生活、生活環境や安全を守る活動を理解させ、道具やくらしの昔調べ、お祭り、津波予防堤防に関わることを通して生活の変化や先人の働きに気づかせ、岡山県の位置や特色を生かした町づくりを通して地理的環境に関わる理解を図り、地域の一員として自覚を高め地域社会に対する誇りと愛情を育てようとしている。</p> <p>○第5学年では、暖かい気候の沖縄・低地の岐阜県海津市のくらしを中心教材に、我が国の国土の様子を理解させ、米づくり・水産業・自動車工業、日本の工業の特色や課題を通して産業の様子や国民生活との関連を理解させ、インターネットや新聞による情報伝達、医療を題材に情報ネットワークの活用について取り上げて情報化の進展への関心を高めている。さらに、公害を題材に開発と自然に関わることや自然災害の防止、森林を守る運動を取り上げ環境保全への関心を深め国土に対する愛情を育てようとしている。</p> <p>○第6学年では、歴史学習においては、各時代の代表的な文化遺産や人物を取り扱う一方でその時代の人々のくらしにも焦点を当てて興味関心と理解を深め、我が国の歴史や伝統を大切にする心情を育もうとしている。くらしと政治の関わり、憲法とくらしの関わりや日本国憲法の原則、日本とつながりが深い国々の学習・国連の働きと関わりについて取扱い、生活と政治の関わり、国際社会における我が国の役割を理解し平和の大切さを自覚するようにしている。さらに、基本的人権に関わるところで、「アイヌ文化振興法」の記述があり、人権問題をより深く考えられるように工夫されている。</p> <p>2. 知識技能の習得、活用、探求に対応するために全学年を通じて次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元に「ふりかえってみよう」を設け、表現活動の展開をサポートしている。 ・「大きくジャンプ」では、身につけた知識や技能を活用して探究できる構成で、多数の教材を例示し、個に応じて主体的に問題解決的学習ができるように工夫されている。 ・「キーワード」を新設し、文章だけでなく、イラスト・写真なども合わせて記載することで視覚的にも理解が深まる工夫がされている。また、キャラクターによる「やってみよう」を設け、活動や作業への意欲づけをしようとしている。 						
内容の構成・配列・分量等	<p>1. 内容の構成・配列について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達の段階等をふまえ系統的、発展的に組織されている。その上で特徴的には主体的な学習内容を取り上げたページがどの学年も多くなっている。特に、社会的重要課題に取り組むため、人権・福祉、情報化社会、防災・安全教育に関わる内容を重点的に取り上げ、伝統・文化、郷土愛・愛国心など道徳教育との関連を取り上げた。 <p>2. 内容の分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数については、第3、4学年は前回と比較して同様となっている。第5学年は前回より12%増となっている。第6学年は前回より16%増となっている。 						
使用上の配慮	<p>1. 児童の学習意欲を高めるために、幅広のつくりを採用し、写真やイラスト・図表をふんだんに盛りこんでいる。</p> <p>2. 児童自ら課題解決に取り組み、主体的に学習できるように、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上の教科書（3・4年は上下とも）に「この教科書のしくみ」を示して教科書の活用の仕方を解説したり、各単元に「学習問題」を提示したりしている。 ・単元の最初に「学習のまど」を設け、学習内容の概要や、調べたり考えたりする中身をを明示し、単元全体の見通しをもって学習できるよう工夫されている。 ・吹き出しや「友だちの発言」を通じて、活動や思考する対象を示唆したり「問い」を投げかけたりして児童への学習サポートを行っている。 ・「学び方・調べ方コーナー」を設け、調べ方やグラフや図の読み取り方、表現方法について解説したり示唆したりしている。これにより、社会的事象を資料から多角的に捉え、調べたり、まとめることに生かせるよう配慮されている。 						
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動など言語活動を重視した学習に対応できるように、複数の「友だちの発言」を登場させ、いろいろな角度からの疑問や意見を示す工夫をしている 						

様式 2

教科名		社 会				
	出版社名	教科書名	番 号			
	光 村	社会	335	336	535	635
取 扱 内 容	<p>1. 学習指導要領総則及び各学年の目標・内容等に基づいて、次のように取り上げられている。</p> <p>○第3・4学年では、横浜市、スーパーマーケットと印刷工場、消防・警察の仕事・ごみの処理と水資源の利用を取り上げ、地域や消費生活、生活環境や安全を守る活動を理解させ、家のづくりや道具の昔と今の違い、おはやし、用水路開発に関わることを通して生活の変化や先人の働きに気づかせ、神奈川県や地理や特色を取り上げ、地理的環境に関わる理解を図り、地域の一員として自覚を高め地域社会に対する誇りと愛情を育てようとしている。</p> <p>○第5学年では、気候の生かした地域として飯山市と沖縄県のくらしや生産、庄内平野を中心とした米づくりと水産業、自動車工業、日本の工業の特色や貿易を通して産業の様子や国民生活との関連を理解させ、東日本大震災を例にした新聞その他の報道、情報ネットワークの活用について取り上げて情報化の進展への関心を高め、公害、森林とわたしたちのくらし、自然災害からくらしを守ることを取り上げ、環境保全や自然災害の防止への関心を深め国土に対する愛情を育てようとしている。</p> <p>○第6学年では、歴史学習において各時代の代表的な文化遺産や人物を取り扱い、資料を豊富に提示して興味関心と理解を深め、我が国の歴史や伝統を大切にすることを育もうとしている。政治と生活の関わり、国会・内閣・裁判所の働きや選挙の仕組み、日本国憲法の特色、日本とつながりが深い国々の学習、現代世界の課題や子どもや平和を守るための機関や活動について取扱い生活と政治の関わり、国際社会における我が国の役割を理解し平和の大切さを自覚するようにしている。</p> <p>2. 知識技能の習得、活用、探求に対応するために全学年を通じて次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れを、「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」で構成し、児童が主体的に課題を追求しながら社会認識を深めるための道筋が示されている。 ・社会科学学習において身につけさせたい重要語句について、「ことば」コーナーを、巻末には「さくいん」を設けている。 ・学習を広げ深めるヒントを示したり、既習事項との比較・関連付けを示唆したりするキャラクターを登場させ、学習の積み上げを促している。 ・小単元の最後に「まとめる 広げる」ページを設け、学んだ知識を活用した発展的学習や学習したことを振り返って表現する活動の手立てとしている。 					
	内 容 の 構 成 ・ 配 列 ・ 分 量 等	<p>1. 内容の構成・配列について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学び、自ら考える力を身につけられるよう、自ら課題を見つけ追求する方法、多様で系統性のある言語活動をわかりやすく示すなどの工夫した構成になっている。 ・地域の実情に応じて事例を選択したり、自分たちが住む地域と比較したりする学習の観点が明示されている。 ・全学年の適所で「防災教育」が取り扱われ、将来にわたって意識が育つよう工夫されている。 <p>2. 内容の分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3, 4学年で1割程度の減量、5, 6学年で微増となっている。 				
使 用 上 の 配 慮	<p>1. 児童の学習意欲を高めるために、写真やイラスト・図表をふんだんに盛りこんでいる。</p> <p>2. 児童自ら課題解決に取り組み、主体的に学習できるように、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県に関する学習の後に、これまで学習した県の特色をかるたにまとめる活動を設定したり、学習のまとめとして、世界で起きている問題を解決する取り組みについて意見分を核活動を設定したりするなどの工夫がされている。 ・教科書の巻頭に「ようこそ、社会科へ」のページを設け、問題解決的な学習方法をわかりやすく伝える工夫をしている。 					
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたしのノート」欄を設け、気づきや思いを書き記せるようにしており、思考を深めることや表現力育成に配慮している。 					